

第70回

梧桐会総会開催

5月13日(日) 於・大崎高校



第53号

平成19年4月1日発行 発行所 梧桐会 事務局・東京都大田区新蒲田 3-18-1-507 渡部良彦方 TEL/FAX 03(3730)8117

編集人 渡部良彦 発行人 川村英 印刷所 (株)英進



梧桐会会長 川村 治

ご挨拶

東京では桜の花も見頃を過ぎ、鯉のぼりが目に付く季節となつて参りましたが、梧桐会会員の皆様方には如何お過ごしでしょうか。日頃より同窓会の活動に対し、深いご理解、ご支援を戴いております事に厚く感謝を申し上げます。 さて、私達の同窓会梧桐

会は、昭和十二年に正式に発足してより七十の歳月を経過し、本年は第七十回目の総会を開催する運びとなりました。今日では会員数も一九〇〇名を超え、大きな組織となつてまいりまして、各々の会員の皆様、社会の各分野にて大いに活躍をされている事と存じます。 梧桐会の活動につきましては、改めて申し上げますが、年一回の会報の発行と総会の開催が有ります。梧桐会総会は毎年五月の第二日曜日(母の日)に母校大崎高校にて開催致しておりますが、近年は同期毎の集まり等、お誘い合わせの上ご出席下さる方が多く、大変盛り上がった総会となっております。只、比較的卒業

ました。最初は、万有引力の原理で有名なニュートンの話です。夜空に浮かぶ月を見ていて疑問に思つたのです。リンゴは木から落ちるのに、何故空に浮かぶ月は落ちてこないのか?でも、全く月が落ちないとすると、月はまっすぐに飛んでいつてしまふ!だから、月は絶えず落ち続けている!と考えたのです。続いて円周率πの話、アニメ作家宮崎駿さんの疑問『どうして雨の中を飛ぶ蜂は雨に打たれて落ちないのでしょうか?』と続きました。二つめは、生きていくときの最も大切な心の在り方について、人に対して寛容であり、思いやりの心を持ったスケールの大きい人になつてほしい!

して間もない方々の出席が少ななのは残念だと思つております。幹事も同様に努力しておりますが、あまり解決策は見あたりません。又、会員名簿の管理、発行も活動の一つとなつておりますが、平成十五年版を発行して以後、個人情報保護

第70回 梧桐会総会

日 時 5月13日(日) 母の日
12時30分(受付開始)
13時~16時

会 費 2,000円(新卒者 無料)
当日会場でお支払いください。

プログラム
会長の挨拶
学校長の挨拶
会務報告
会計報告
その他

『1000年の風雪に耐えて育つた木は、1000年先まで建物の柱として健在である。』 法隆寺金堂や薬師寺西塔など、檜の巨木を使つての見事復興を果たした最後の宮大工棟梁西岡常一氏の含

著ある言葉です。さらに、『木は生きている。木の個性をよく見極め、その特性を最大限發揮できるように組上げるのがプロとしての大工の目(心)なのだ。』と語つています。激動の社会変化に耐えうる教育の不易をしっかりと守りつつ、ひとり一人の個性を大切にしてい

平成18年度卒業 梧桐会新幹事

A組	西村 竜郎
B組	長沼 美里
C組	菅原 弘子
D組	北山龍之介
E組	増田なつみ
F組	岩佐 秀平
G組	宮森ももこ
	井本 昌希
	林 美香
	渡邊 寛之
	大石恵美子
	大杉 俊平
	佐藤 良太

法の制定もあり、以後は名簿管理のみと致さざるを得ないと思つております。尚本紙3面に記載されております内容につきましては、充分ご注意ください。御願ひ申し上げます。 本年4月から梧桐会の公式ホームページを立ち上げました。ここ数年、幹事会にて色々検討を重ねてまいりました。制作コストやランニングコスト、それにどの様なレイアウトにするか等々ですが、幹事長をはじめ若い幹事諸君が知恵を絞つて作り上げました。是非ご覧頂きたいと存じます。会報のホームページ上の公開や、学校行事の紹介等により、梧桐会会員と学校・同窓会の繋がりがより深まる事を期待して止みません。又、梧桐会報郵送料の削減にもつながるものと期待しております。 ホームページの感想、同窓会へのご意見、お考え等をFAX、メールにて事務局までお寄せ頂ければ幸いです。



今年の総会風景



梧桐会会員の皆様へお知らせ
この度、梧桐会にてHP(ホームページ)を開致しました。 梧桐会発足の目的でもあります、大崎高校卒業生の輪を広げるという意味でも、今回のHPを有効に利用して頂きたいと思っております。 まずその第一弾として、会員の皆様をご紹介するページを作成したいと考えております。例えば、飲食店を経営されている方や観光地でご商売されている方など、HPにぜひ載せてみたいと思われる方・載せてもいいかなと思われる方は、梧桐会事務局までご連絡下さい。 なお幹事会で検討の上、掲載をお断りさせて頂く場合もございますがご了承下さい

『読書』

旧職員 三谷 博俊

僕は平成十三年三月、都立高校の教師をやめ、その後五年間嘱託教員をやり、平成十八年三月で全てを終了した。嘱託教員になると、他にすることもないから本を読んだ。暇にまかせて手当たり次第に読みまくった。その中の一つに西田幾多郎全集があった。二〇巻くらいあり、非常に難解で手に余った。

西田は「善の研究」が代表作とされているが、あれはエッセイ風で大したことはないが、哲学論文は本

出すから何か書けという気持ちは正直に書いた。それから数日後、授業から帰ってきた。校長が待っていた。僕はその意味がすぐに分かった。僕がとっさに夕メだとおもうとした。が、その時、あともう少しで嘱託も終わる、自分のためにも家族のためにもめんどろっだ、更には編集をしている先生方にも迷惑をかけることになると思った。しばらくして僕は、校長の言葉に従う旨を言った。朕の意を対して、こういう風に転向するのだと思った。西田どころではないと思った。

魯迅に「小さな出来事」という短編がある。ある年の冬、人力車を走らせていた時、突然車の握棒に引っかけた者がいた。それはボロボロの服を着た老婆であった。車夫は車をとめた。「私」にはその老婆の怪我は大したことではないと思えたし、急ぐ用事もあって車夫のことを余計なことをする奴だと思いつながら見ていた。車夫は老婆の腕を支えながら派出所の方へ歩



職員だより

旧職員 関野 憲雄

大崎高校に在職したのは昭和39年から43年の5年間です。赴任時は28歳でしたが、そのとき担任した人から今年で退職ですとの年賀状を戴きました。当時は生徒諸氏とよく野球をやっていました。又釣りを教わり一緒に釣りに行ってもらったりもしました。

総合学区制の時代で、日比谷高校全盛といわれたものですが、大崎の諸氏も非常によく学び且生徒会活動も活発でした。学帽廃止

や遅刻対策を自主的にやっています。共に学び、共に活動し、私を教師にしてくれた諸氏に感謝することの多い次第です。

昨年の夏には金融機関の責任者や弁護士になった人達が訪れてくれました。もう40年ぐらいたっています。が高校年代での交友関係は生涯の友として大切なものですよ。

現在はキャベツの畑を村に移って10坪ぐらゐる家庭菜園で農的の生活をしています。そ

き出した。「私」はそれをた見ていた。すると巡査が出てきて他の車を見つけてくれるように言った。その時「私」は、外套のポケットから一つかみの銅貨を取り出し、車夫に渡してあげよう頼んだ。「私」はその後、自分でも、あの一つかみの銅貨が何の意味だったかと考える。そして、次のように言う。ただこの小さな出来事だけが、いつも眼底を去りやらず、時には前にもまして鮮明にあらわれ私を恥じさせ、私を奮立たせ、さらにまた私に勇気と希望を増してくれるのである。」と。この小説で取り上げていることは、「小さな出来事」であり、日常どこにでもありそうな、一寸した善意とそれを面倒がる「私」の我慢な気持ちである。これは人間の心の小さな一かけらであり、思い出しの断定である。魯迅はそれを見逃さず、車夫への讃美と「私」への侮辱の気持ちをそのまま書いた。そこに魯迅の偉さがある。

どんなにすばらしい小説や哲学も、小さい心を育てることから始まる。法的には権力によって人間を力づくで縛ろうとすることから、何も生まれては来ない。僕は教育だとか愛国心だとかいうことを、ことさらに取り上げ、大きさにあげつらうことが嫌いだ。そういう連中の言うことは全く信用しない。政治家はなぜ真面目に政治をやらないのか、これまた全く僕には分からない。ここ数年、社会や学校現場での数々の出来事は

大崎での5年間



旧職員 更科 元子

大崎高校には、平成6年4月から平成11年3月までの5年間お世話になりました。環境の良いすばらしい学校」という評判を聞き、期待に胸を膨らませて戸越公園の駅に降り立った日思い出します。進駐車の落書きが残る古い小学校転用校舎から転動してきた私には、まだ新しい体育施設や機能的な校舎はとも立派に見えましたが、その頃すでに地震構造の新校舎計画立案が始まっていた。現在の校舎が使われるようになる半年前の工事中に転出したので、私にとっての大崎高校校舎は現校舎のひとつ前のものです。

赴任してまぶつくりしただけで、教員全員が机を並べる大職員室で毎年席替えが行われるということ。私のように整理整頓が苦手な者が1年後に席移動できる

のだからか4月には不安に思ったけれど、結局5年間で、進路部、生徒部、1学年、2学年、3学年と5つの席を使いました。生徒の挨拶がよいのも印象的でした。

初めての定期考査のとき、3年生が1日ずれた日程なのに気づかず試験監督に穴を開けたのは忘れられない。郵便局に雑用をしながら行って戻ると「試験監督だったよ」と言われ大慌て。結局出題した数学の新納先生が問題配布しながら教室を巡回していました。その時、監督がいない教室もきちんと取り組んでやっていて「さすがだ」と感心しました。

5年間のうちの後の3年間は、担任として忙しくも楽しい日々でした。事件やエピソードは山ほどあります。が、まず入学式。初対面の生徒に「君たちの今日の一番の仕事はハイの返事だよ。後の保護者席にいとわが子の声だけが楽しみなんだから」と話してリハーサルしてから入学式に臨み、緊張のあまり一人の生徒の名前を呼び落とし、彼にひたすら謝ったことが学年のスタートでした。そっからHRの連絡事項は隣のクラスに生徒が自主的自衛的に

国の防衛は皆さんのいのち健康を維持する健康野菜と現役にある同窓会の人達が大崎時代のような自由闊達な共同の教育を取戻したいと願っています。

私が大崎高校から転動する時期に木造校舎から現在の校舎に建て替えられておりました。学校は地域の防災拠点ともなります。学校近辺には同窓の人達も住んでおりますので地震対策校としての役割としての建

確認に行くようになりまし。た。「更科先生は大切なこと以外は言い忘れる、隣の先生は話が多すぎて何が大切かわからない」ということで、クラスを超えて生徒が協力していたそうです。文化祭の準備として森永製菓や明治製菓に工場見学に行ったこと、修学旅行先の沖繩で真っ暗なガマに入ったこと、体育祭の応援団に夢中になる生徒に感心したこと、夏休みに九州まで自転車旅行したグループの成長ぶりに「旅は偉大だ」と驚いたこと、合宿でダウンした生徒の点滴に付き添ったこと、高3文化祭で「更科そば」の暖簾をあげたこと、家庭訪問して生徒のお母さんと話し込んだこと、格技棟の和室で土曜日に茶道を習ったこと、卒業式後に担任転勤のうさを聞き「先生も一緒に大崎を卒業だね」とケーキを買って生徒が集まってくれたこと、こうして3年間身近につきあっていた生徒たちは今年も年賀状で近況を報告してくれたり、仲間の集まりに呼んでくれたりします。呼ばれた場で話を聞いていると、卒業後も時々連絡を取り合いつきあっている様子が伺えます。また生徒に負けず劣らず7人の学年団(宮司・峰岸・中村・大塚・増田・石黒・更科)の方も大変仲が良い学年でした。放送で呼ばれて何事かと駆けつけると他の6人で「ハッピーバースデー!」なんてこともあり、そんな教員側の雰囲気は生徒の指導にも影響していたと思います。

大崎から転出するときには思い出のつまった戸越で何か買おうと考え、改札から数軒の位置にあった角の家、具屋でソファを買いました。これは今でも我が家で毎日活躍しています。

人間が真に大切にされる社会を教育に関わってきたつもりでしたが次第に怪しくなってきました。そ

平成18年度卒業生進路

4年制大学	計103	城西国際大学	1	東海大学	1	明海大学	1	東海大学短期大学部	1
桜美林大学	1	昭和女子大学	1	東京経済大学	1	明治学院大学	4	東海大学短期大学	1
大妻女子大学	1	女子美術大学	1	東京工科大学	4	目白大学	3	東京家政大学短期大学部	1
嘉悦大学	3	杉野服飾大学	1	東京工芸大学	1	立教大学	1	東横学園女子短期大学	1
神奈川工科大学	2	聖徳大学	2	東京女子医科大学	1	立正大学	5	日本女子体育短期大学	1
神奈川大学	4	洗足学園音楽大学	1	東京電機大学	4	ルーテル学院大学	1	文教大学女子短期大学部	2
関東学院大学	7	創価大学通信教育部	1	東京富士大学	1				
共立女子大学	1	大東文化大学	1	東洋大学	5	短期大学	計20	専門学校(含職業訓練校)	計98
國學院大學	1	高千穂大学	1	日本獣医生命科学大学	1	大妻女子短期大学	2	就職(含公務員)	計10
国際城西大学	1	拓殖大学	1	日本体育大学	2	神奈川大学短期大学	1	その他	
国士舘大学	2	拓殖大学	1	日本大学	5	共立女子短期大学	1		
駒澤大学	2	多摩大学	1	日本薬科大学	1	自由が丘産能短期大学	1		
相模女子大学	1	千葉経済大学	1	文京学院大学	2	昭和女子大学短期大学部	1		
産業能率大学	1	鶴見大学	2	文京大学	1	聖徳大学短期大学部	1		
実践女子大学	2	帝京大学	6	法政大学	1	鶴見大学短期大学部	5		
淑徳大学	1	田園調布学園大学	1	武蔵工業大学	5	戸板女子短期大学	1		

有朋自遠方來、不亦樂乎

山崎 晴美 (昭和36年度卒)

お彼岸も過ぎたというのに、庭の芝生の上に霜が下りて真っ白です。丈の長い防寒コートを着て、フードを被り、犬の散歩に出掛けている。

平成十三年七月、リタイヤを期に長野県北佐久郡御代田町に来て六年になります。主人とラッキー(ゴードン・レッドリバー35kgとミミ(パピヨン4kg)と四人で暮らしています。友人に御代田って何処?と聞かれます。私も全く知らない土地でした。田舎で暮らしてもいいかなと思つてから、何回か車で通つて今の所に決めました。特に知人が居る訳でもなく、軽井沢に近い。日帰り温泉が沢山有る。なんて単純な考えで引越して来ました。地理的には、軽井沢町追分の隣、通称西軽井沢地区、海拔

九百二十mの処です。背中で浅間山が白煙を上げています。数年前に山頂から火の手が上がった事があり、びつくりしましたが、地元の人、何の騒ぎもなく、淡々としたものでした。

家の周りは、右を見ても左を見ても、前を見ても、林が沢山残っています。夜は星空が物凄く綺麗です。冬はマイナス15℃位まで下がり、雪は余り積らず、夏は快適。軽井沢より湿度が少なく、良い処です。軽井沢駅まで15分。夏は一時間半位かかります。行政は合併せず、単独でいく事になったので、固定資産税や納税額が倍近く増えました。仕方無いと思つています。

私の毎日は、朝五時起床。緩りとコーヒーを飲み、ヘッドホンを付け、愛用のグラビノーバ(電子ピアノ)

でピアノの練習(ボケ防止指のリハビリ)をし、ラックキーと朝の散歩(一日一万歩位)。石油窯で粘土を焼き、時々、農産物直売所やギャラリーで展示販売会をして材料費を稼ぎ、同じ趣味の人達と語り、うまく出来ない事を嘆き、落ち込み、又奮起。週に一度はテニスに行って、帰りに日帰り温泉でのんびり。



軽井沢 2003. 11. 1~2
前列右から3人目が筆者

子供達から、チョコット来て、といわれれば飛んで行き、孫達と遊んでいます。平成15年11月に、テニス部OB会(朋有会)の皆様が、テニスをしに来てくれました。自宅で十六名、雑魚寝で申し訳なかったのですが、楽しかったです。また、御代田に「きんさん」(おいでくださいませの方言)。

同期の浅田さんのご尽力により、今年も、千葉県白子町で朋有会の合宿があります。出席の予定です。

テニス部OB会朋有会合宿
平成19年10月27、28日
千葉県白子町
お世話人 浅田陸夫さん

大崎桜

末永 恭輔 (平成6年度卒)

バブル崩壊の影響で父の事業が不調で、住み慣れた大田区・桜坂の住宅を引き払うようになったのは大崎高校入学から間もない頃でした。普通ならば大変な高校時代となるところが、剣道部に所属し隣の柔道部にも気のいい友人が何人もおり、また校門をくぐったところにある見事な枝垂桜がいつも私の心を励ましてくれました。

戸越公園商店街にあるカレールー屋「桐島屋」に、私がおなかを空かして行くといつも大盛にしてくれたこと、授業料を滞納していても笑顔で挨拶してくれた事務長さんは、今でも忘れること

を、大学選手権や全日本大会で優勝しました。しかし大学4年の時に、練習中に友人が倒れ、そのまま息を引き取り大変悲しい思いをしました。

大学を卒業した後、大阪に本社のある電器会社に就職しましたが、高校3年の時に起こった震災で亡く

来た人々の悲しみを共に分かちたいと思つたようになり、退社して、銚子・浄土寺で出家。その後京都・知恩院で修行を終え浄土宗の僧侶になりました。

現在は大崎高校から程近い、東急目黒線(旧目蒲線)不動前駅にある五百羅漢寺に勤めております。将

会員だより



緊急連絡! こんなはがきが届いていませんか?

最近「人事新報社」という会社から大崎高校卒業生に対して「東京都立大崎高等学校同窓名鑑」のご案内(往復はがき)が送られてきております。案内の内容は、①各人の最新個人情報、②購入申込の有無(価格:10,800円)等を記入の上、③往復はがきでの返信を依頼、となっております。本件に関しましては下記のとおりですので、ご注意願います。

- 1 「人事新報社」は、大崎高校同窓会(梧桐会)、都立大崎高校とは全く関係がありません。
- 2 梧桐会は、現在このような「往復はがき」による個人情報の調査は一切行っておりません。
- 3 梧桐会では他の会社に委託して名簿管理をすることはありません。

したがって、今回の調査に対しては、一切返答する義務はありません。また、「人事新報社」から返信を督促する内容の案内が送付される場合もあるようです。もし返送された場合、梧桐会としては責任を負いかねますので、くれぐれもご注意ください。

「人事新報社」に関しては、すでに多くの大学や高等学校がHP等で上記と同様の注意を呼びかけております。

郵便往復はがき(返信)
料金受取人私
流川局承認
353
差出有効期限
平成19年8月31日まで
<切手不要>

532-8790
(受取人) 淀川郵便局 私信箱51号
人事新報社 名簿出版事業部
「東京都立大崎高等学校同窓名鑑」係

●業界別編●現住所別編●電子メール・メッセージ編の三部構成!!
東京都立大崎高等学校同窓名鑑
人事新報社 発行

拝啓
皆様におかれましては、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。
ご多忙のところ誠にお手数ながら、この度、東京都立大崎高等学校同窓名鑑を発刊するにあたりご協力をお願い申し上げます。
器具

ご自身の東京都立大崎高等学校も、明治44年大崎女子実業補習学校として開設以来90有余年の歴史を刻み、卒業生の方々も既に多方面でご活躍のことと存じます。この度、弊社では社会の各方面で、こういった卒業生の方々のご活躍でいらっしゃるかが、ひと目でわかる様、皆様方のご活躍状況を「同窓名鑑」に編纂いたしました。「東京都立大崎高等学校同窓名鑑(業界別/現住所別)」(平成19年10月発行予定)として発行いたしました。準備をすすめております。

人と人のつながりこそ財産である今日、従来に無い本書の出版は、学校・同窓会との関係はございませんが、卒業生の方々の今後のご交流、また相互のご発展に必ずやお役に立てただけのものと思っております。

つきましては、誠に勝手ながら、調査カードに掲載内容ご記入のうえ10日ほどでご返信願うべく、よろしくお願い申し上げます。

※頒布対象は卒業生の方々に限らせていただき、予約部数のみの発行になります。

郵便往復葉書(往信)
料金後納郵便
〒114-0054 大田区新蒲田3-18-1-507
様 (6011-5)

東京都立大崎高等学校同窓名鑑
発行所:〒534-0024都島区東野田2-2-3 湊波ビル5-A号 人事新報社
お問い合わせ TEL:06-6924-5557 FAX:06-6924-5558
※電話は大量受付け合いますので、つながらない際はFAXにてお問い合わせください。
(既に返送の際は失礼をお詫びいたします。)*裏面もお読みください。

大崎高等学校 名簿作成用 <調査カード> 191002
卒業年 昭51年卒 NO. 6011-5 (旧姓名)
氏名 齋藤 直樹
〒144-0054 大田区新蒲田3-18-1-507
現住所
※自宅TEL ()
TEL ()
大学 学部 趣味
E-Mail: @

01 業界/卒業生 21 慶応/コンビニエンス 39 電力/ガス/燃料
02 建設/住宅/土木/設計 40 医療
03 自動車/販売/修理 41 宗教/福祉/文化/施設
04 教育 42 各種/保険/損害/特約法人
05 金融 24 ファッション/服飾/雑貨 etc
06 第九/ルポ 25 美容/化粧品/エステ 43 スペシャル/法曹/講師
07 化学/生薬/材料 26 その他/小売/販売 etc
08 石油/石炭/セメント/ 27 全職/専業 44 空/防/機務
09 ガラス/窯業/土石 28 全職/専業 45 学校/教育/教育サービス
10 印刷/印刷 29 主保/信託 46 自由/報道/翻訳/美術/ 47 在宅中
11 金融/証券/金融/電報 30 美術/音楽/音楽/出版 48 その他
12 建築/建築/建設 31 不動産/建物管理
13 建築/建築/建設 32 マスコミ/通信/出版
14 建築/建築/建設/年俸 33 その他/情報サービス/ シンタク
15 建築/建築/建設/年俸 34 コンピュータ/関連
16 その他/建設 35 観光/観光/レジャー
17 印刷/印刷 36 飲食/飲食
18 事務/事務用品/事務 37 リーサル/レンタル
19 専攻/専攻 38 その他/サービス
20 百貨/百貨/百貨 38 その他/サービス

申込欄 定価:10,800円(送料込) 税込11,340円 申込(する・しない)
いづれかに○をお付けください。

梧桐会ホームページを開設！

大崎高校が90余年、梧桐会も70年を迎える今年、梧桐会員の皆さまに朗報がごございます。今年度より、梧桐会もようやく時代に波に乗り出そうと、ついにホームページを開設いたしました。とても綺麗なページに仕上がっておりますので、まずは実際にご覧ください。

梧桐会は都立大崎高等学校の公式同窓会です。

[サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [ホームへ戻る](#)

梧桐会
AOGIRIKAI

東京都立大崎高等学校同窓会
TOKYO METROPOLITAN OHSAKI SENIOR HIGH SCHOOL

<http://www.aogirikai.com/>



梧桐会ホームページ

URL : <http://www.aogirikai.com/>

Mail : info@aogirikai.com

ホームページをご覧頂くと、画面の中央部にFlashによるムービーも動いており、質の高さに驚いた方もいらっしゃるでしょう。実はそれだけではなく、管理面でも様々な仕組みを導入しており、他サイトにも決して引けを取らないような作りになっております。

従来ですと、年1回の梧桐会総会と、毎年お送りするこの会報だけで、皆さまにはお伝えしきれない情報もあったかと思えます。今後は情報がありましたら、このホームページを随時更新し、皆さまにご案内をしていければと思っております。

また、皆さまからの同窓会案内などの情報も積極的に掲載していけるような仕組みにしていきたいと考えておりますので、まずはご覧頂き、ご意見や感想などをメールにてお送りいただくと梧桐会ホームページの今後の発展のためにも助かりますのでよろしくお願い致します。

お知らせ・最新情報

- 2007/05/13 第70回 梧桐会を開催
- 2007/04/13 ホームページ一般公開
- 2007/03/31 会報掲載原稿の募集を開始しました
- 2006/05/14 第69回 梧桐会総会を開催しました

梧桐会事務局からのお知らせ NEW

2006年3月から、諸事情により旧メールアドレスが使用できなくなりました。皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました。このため、新アドレスを取得しましたのでご活用ください。aogirikai@yahoo.co.jp 「aogirikai」ではなく「aogiri-kai」です。必ず「アンダーバー」を入れてください。

連絡先変更や掲載依頼など、事務局へのご連絡の際、できる限りEメールかFAXでお願致します。

メールマガジン

同窓会情報などをお知らせします。

メールアドレス:

梧桐会は都立大崎高等学校の公式同窓会です。

[サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [ホームへ戻る](#)

梧桐会
AOGIRIKAI

東京都立大崎高等学校同窓会
TOKYO METROPOLITAN OHSAKI SENIOR HIGH SCHOOL

<http://www.aogirikai.com/>

[ホーム](#) > [会報バックナンバー](#) > [連絡先変更フォーム](#)

連絡先変更フォーム

ADDRESS CHANGE FORM

同窓会ニュース

ALUMNI ASSOCIATION NEWS

イベント・行事

EVENT

会報バックナンバー

BULLETIN & LIST OF NAMES

連絡先変更

ADDRESS CHANGE FORM

梧桐会とは

ABOUT AOGIRIKAI

プライバシーポリシー

PRIVACY POLICY

リンク

LINKS

ホームへ戻る

BACK TO HOME

連絡先変更フォーム

同窓会に登録されている住所、氏名などを変更したい方、下記のフォームに必要事項を記入してください。

梧桐会会員の皆さんの連絡先変更用フォームです。項目に記入して「送信」を押してください。※は必須項目です。必ず記入してください。

▶ 氏名 ※ (姓) (名)

▶ ふりがな ※ (姓) (名)

▶ 卒業年度・生年月日 卒業年度 年度卒業
生年月日 年 月 日

▶ 郵便番号 -

▶ 住所 ※ 都道府県 市区町村 それ以降

▶ 電話番号 ※

▶ E-Mail ※ (確認のため、再度ご入力ください)

▶ 備考欄

※御入力頂きました個人情報は、当該お問い合わせに關してのみ利用し、本人の同意を得ることなく他に情報を提供することはありません。

[同窓会ニュース](#) | [イベント・行事](#) | [会報バックナンバー](#) | [梧桐会とは](#) | [リンク](#) | [プライバシーポリシー](#) | [ホームへ戻る](#)

梧桐会 都立大崎高等学校同窓会
〒144-0064 東京都大田区新蒲田 3-18-1-507 TEL&FAX 03-3730-8117

Copyright (c) 2007 Aogirikai All Rights reserved.

連絡先変更についてのお願い

今回ホームページ開設を行うにあたり、梧桐会の今後の運用も考慮し、様々な機能を持たせており、そのうちのひとつとして連絡先変更フォームを設置しました。これにより、会員の皆さまの住所変更があった際、これまではお手数ですがメールかFAXでご連絡いただいていたのですが、今後はWebでいつでも行えるようになりました。

連絡先変更フォーム：<http://www.aogirikai.com/archive/form.php>

年に1回ではありますが、梧桐会報をお届けするため、住所変更があった際には連絡先の変更をしていただけますようお願いしております。なお、セキュリティには充分配慮し、個人情報保護に関する法令を遵守いたします。なにとぞ、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ホームページ完成に至るまで

平成13年度卒業生として梧桐会の幹事として入会し、早いものでもう5年が経過しました。大崎高校を卒業してからは情報系の大学に進学し、就職も念願のIT企業に就くことができました。

毎年、梧桐会総会の準備を進めていく際に、梧桐会幹事として、何か自分でなければいけないことで、お手伝いできないかと思ったとき、ふとホームページのことが浮かんだのです。実はホームページに関しては数年前から梧桐会で案としては上がっていたものの、それを完成させるだけの取りまとめや、実行力がありませんでした。

そこでまずはこれまで出ていた案を取りまとめ、制作業者に見積りをする所から始めました。少子化の影響で梧桐会の運用費用が少なくなっていく事が確実に懸念しなければならぬ今後のためにも、どうしても予算は切り詰める必要がありました。

薄学ではありますが、持ち合わせる専門知識を活用し、可能な限りこちらで仕様を固め、あいている時間に見積りを取り続け、最終的にその中でデザイン力と低価格さを持ち合わせた業者に決定。実際の制作業者とのやり取りに関しては、抱えている仕事の片手間でやらざるを得ないので、平日の夜にメールや電話でのやり取りを繰り返して進めていきました。その制作工程の中で、頭に思い描いていたものが次第に実現していくさまは、とても楽しく、さらに制作さんと相談を進めていく中でも、不可能だった事が可能になったり、さらに良いアイデアが浮かんできたりと、梧桐会のかつてからの願望が次第に形になっていくさまはまさに感動的な瞬間でした。

そして今日ここにこのホームページが完成し、皆さまの目の前にあるわけですが、ここから先は私達幹事も含め、皆さまと共に発展させていきたいと思っております。ご意見やご要望のほか、皆さまの同窓会情報からお店のご案内まで、積極的に交流が行えるような場所にしたいと考えておりますので、今後とも梧桐会と、このホームページに対し、温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

梧桐会副幹事長・ホームページ担当 朽名貴明 (平成13年度卒)

編集後記

◇4月21日(土)23時を回ったところ。梧桐会報第52号をお届けします。今年度は「会員だより」と「職員だより」が何だか少ないような気がしますが、いや、確かに少ない。少ないんだよ。そんなに依頼していないし、回収率は5割5部5厘、良いのか悪いのか、とにかく予想できない、9割を超えると思ふてしまう。難しいんだよね。ああ、やばいと思つていたら妙なはずが来た。わが家には2通です。20年ほど前にも似たようなことがあった。今はインターネットがあるもんだから、ちよいと検索してみると、ウヒヤ、すごいね。全国の大学や高校の同窓生に呼びかけているので、それらを参考に3面にて皆さんに呼びかけました。◇↑のようにここ数年の懸案事項だったホームページを開設しました。実はそれの一番の狙いは、郵送費の削減です。「梧桐会報」をいつでもHPで閲覧できるようにするので、その環境下にある方には、「連絡先変更フォーム」を利用して「郵送中止」として頂くという事です。また、以前は会報を送るだけの「一方通行」でしたが、これからはいつでも会員の皆様からの声を瞬時に送り返すことができることになりました。今後の梧桐会の活動に役立てていきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

◇今年も母の日(5月13日)に梧桐会総会を開催します。ホームページをご覧になり今年こそは出席したいという気持ちになったあなた！いつか出席しようと思つているあなたも、そうでないあなたも、ぜひお集まりください。(なべちゃん)